

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろHome		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や長期休暇期間のイベントの充実	利用の約1ヶ月前には翌月のイベント一覧を送り、前もって予定を立てられるようにしています。 人気のイベントは回数を増やしています。 また、イベント内容の詳細を事前に考えて、当日のスケジュールを作成しスムーズにイベントを進行できるようにしています。	遠出するイベントや今まで行ったことのないイベントを行うなど、イベントの内容に幅を広げたいと思います。
2	臨機応変な送迎対応	短縮授業など急な送迎時間の変更連絡があった場合、前日や当日の連絡であっても柔軟に対応しています。	短縮授業がある時期などは早めに送迎時間の確認を行い、直前の送迎時間変更の機会を少なくしたいと思います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	おもちゃなどの療育の道具の充実	今ある療育道具は以前から使用しているものが多くアップデートされていないので、新しい療育道具を購入して飽かさせないような工夫をしています。	定期的に子どもやスタッフなどの意見を聞いて、子どもたちが楽しめる療育道具を取り入れたいと思います。
2	SSTやイベントの活動内容が物足りないと感じる子どもがいます。	高学年の利用者が増えてきたために、利用者の年齢層にばらつきがあり、療育内容を低年齢の子どもに合わせすぎると、活動が物足りないと感じる子どもが出てきてしまいます。	SSTやイベントを行う際にチーム分けを行い、高学年の子どもたちが退屈しないように工夫をして活動を行いたいです。
3			